

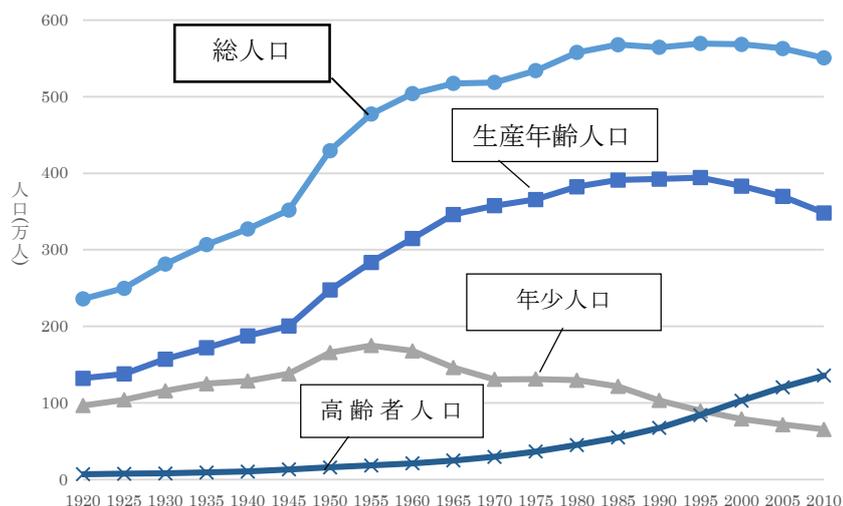
# 北海道人口ビジョンの概要

～北海道の人口の現状と展望～

平成 27 年 10 月  北海道

## 北海道の人口動向

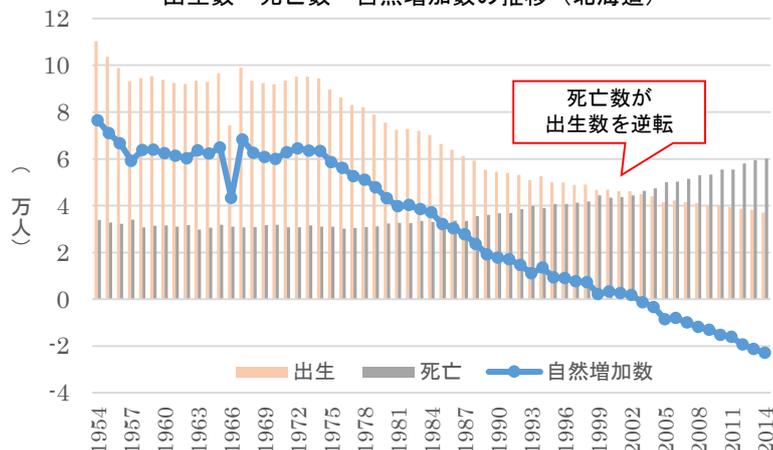
### 1 総人口



- ・本道の人口は、1997年の約570万人をピークに、全国より約10年早く人口減少局面に入り、2010年の人口はピーク時よりも約19万人少ない550.6万人となっている。
- ・1990年代後半、生産年齢人口は減少に転じ、高齢者人口が年少人口を上回った。
- ・2014年の自然減は約23,000人、社会減は約8,900人となっている。

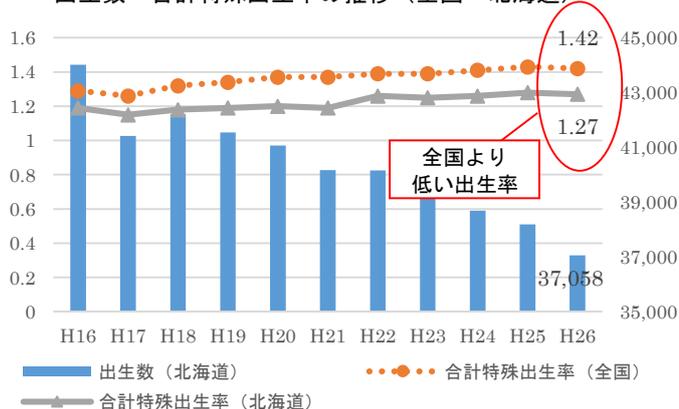
### 2 自然増減

出生数・死亡数・自然増加数の推移（北海道）

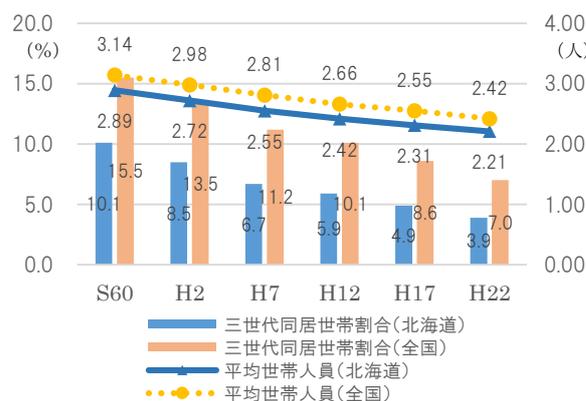


- ・2002年までは、死亡数が出生数を下回っていたため、「自然増」の状態が続いていたが、2003年から死亡数が出生数を上回る自然減に転じている。
- ・未婚・晩婚・晩産化のほか、本道は全国と比較して核家族化が進んでいることや若年者の失業率が高いことなどから、全国より低い出生率が続いている。

出生数・合計特殊出生率の推移（全国・北海道）



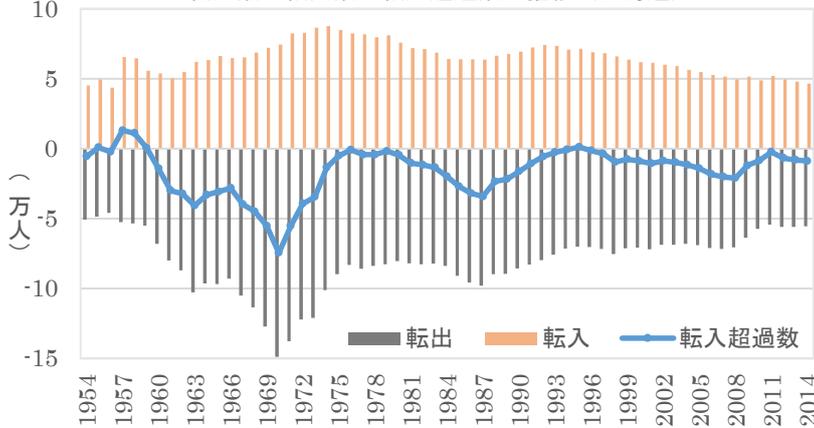
核家族化の状況（全国・北海道）



# 北海道の人口動向

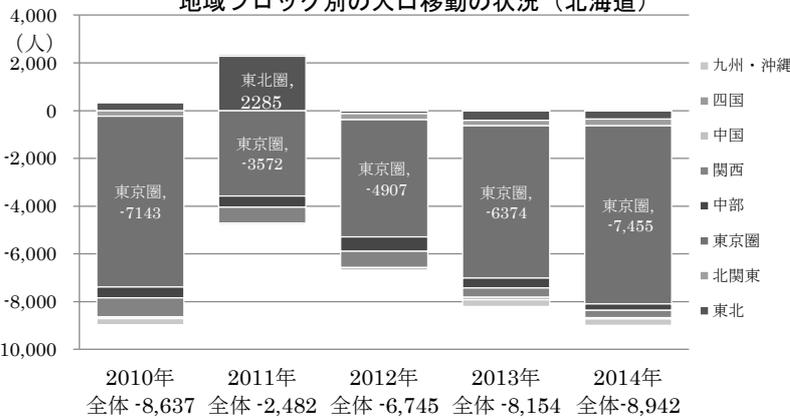
## 3 社会増減

転入数・転出数・転入超過数の推移（北海道）

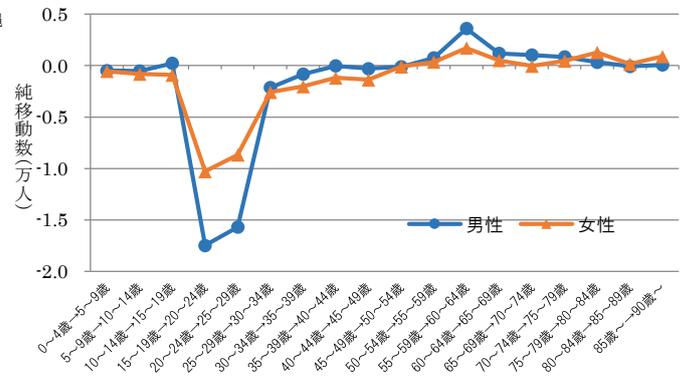


・半世紀にわたり道外への転出超過が続いており、その主な要因は若年者の進学・就職に伴う首都圏への転出であると考えられ、特に男性の転出超過が顕著である。

地域ブロック別の人口移動の状況（北海道）



性別・年齢階級別の人口移動（北海道）2005年→2010年



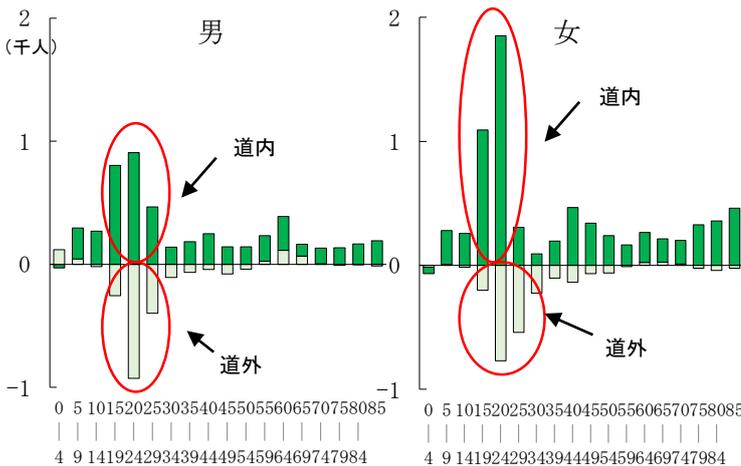
## 4 札幌市への人口集中

札幌市への人口集中割合（1970年～2010年）

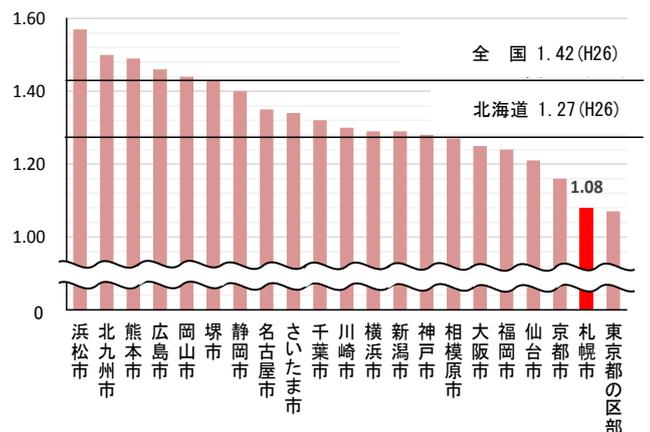
	1970年	1980年	1990年	2000年	2010年
北海道	5,184,287	5,575,989	5,643,647	5,683,062	5,506,419
札幌市	1,010,123	1,401,757	1,671,742	1,822,368	1,913,545
割合	19.5%	25.1%	29.6%	32.1%	34.8%

・札幌市への人口集中が進んでおり、20～24歳の男性については、札幌市から道外への転出と道内他市町村からの転入が拮抗しているが、同世代の女性は道内他市町村からの転入が多い。  
 ・全道人口の3分の1を占める札幌市の低い出生率は、北海道全体の出生率に大きく作用している。

男女・道内・道外・年齢別転入超過数（札幌市2014（H26）年）

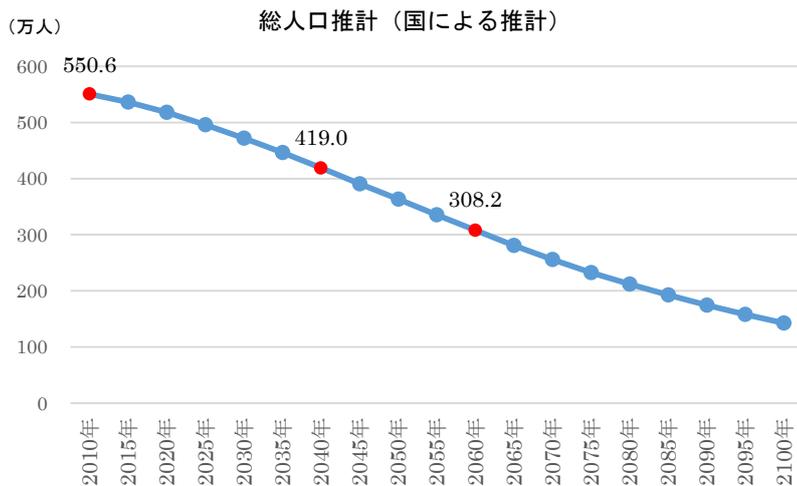


21大都市の合計特殊出生率（H20～24年）



# 将来人口の推計と減少による影響分析

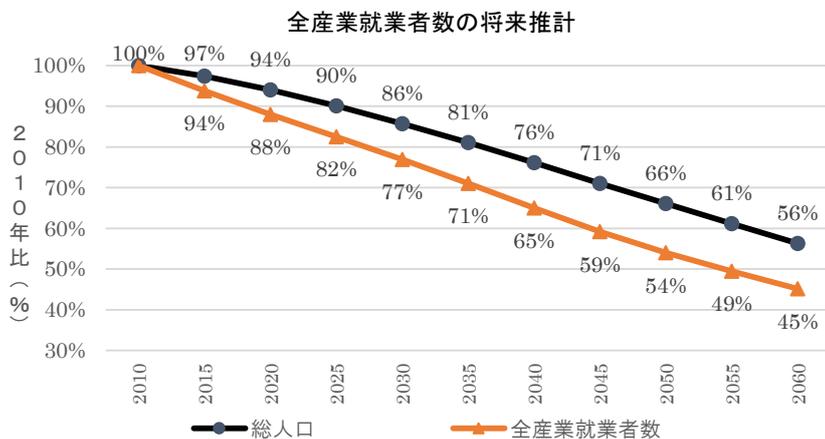
## 1 将来人口の推計



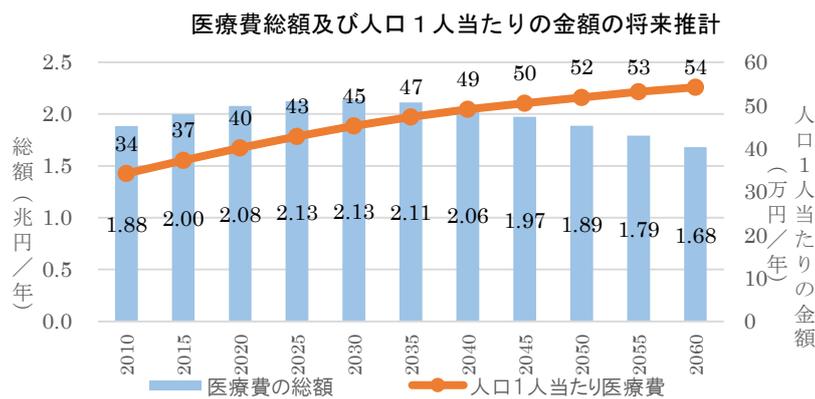
・国（国立社会保障・人口問題研究所）の推計によると、今後、何も対策を講じない場合には、2040年の人口は419万人となる。

2010年 550万人  
↓  
2040年 419万人

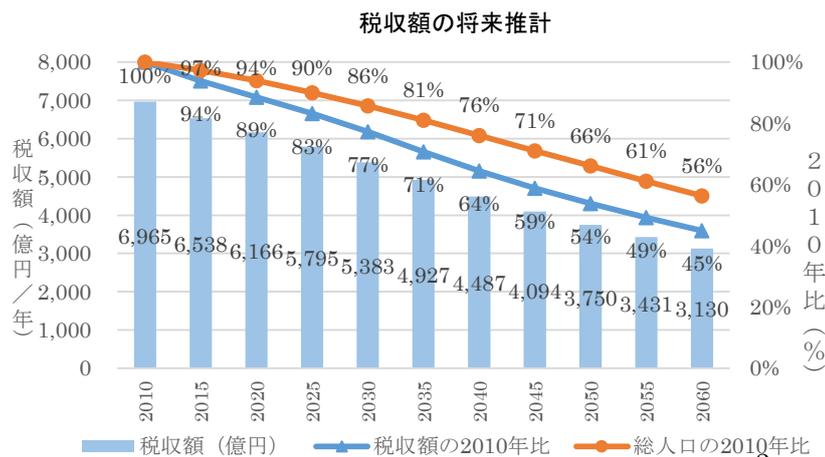
## 2 人口減少が地域の将来に与える影響の分析・考察



・生産年齢人口の減少と高齢化の進展による非就業者の増加により、将来の就業者数は総人口を上回るスピードで減少する。  
・就業者数の減少による人手不足は、地域活力の低下や農林水産物の供給力の低下を招くことが懸念される。



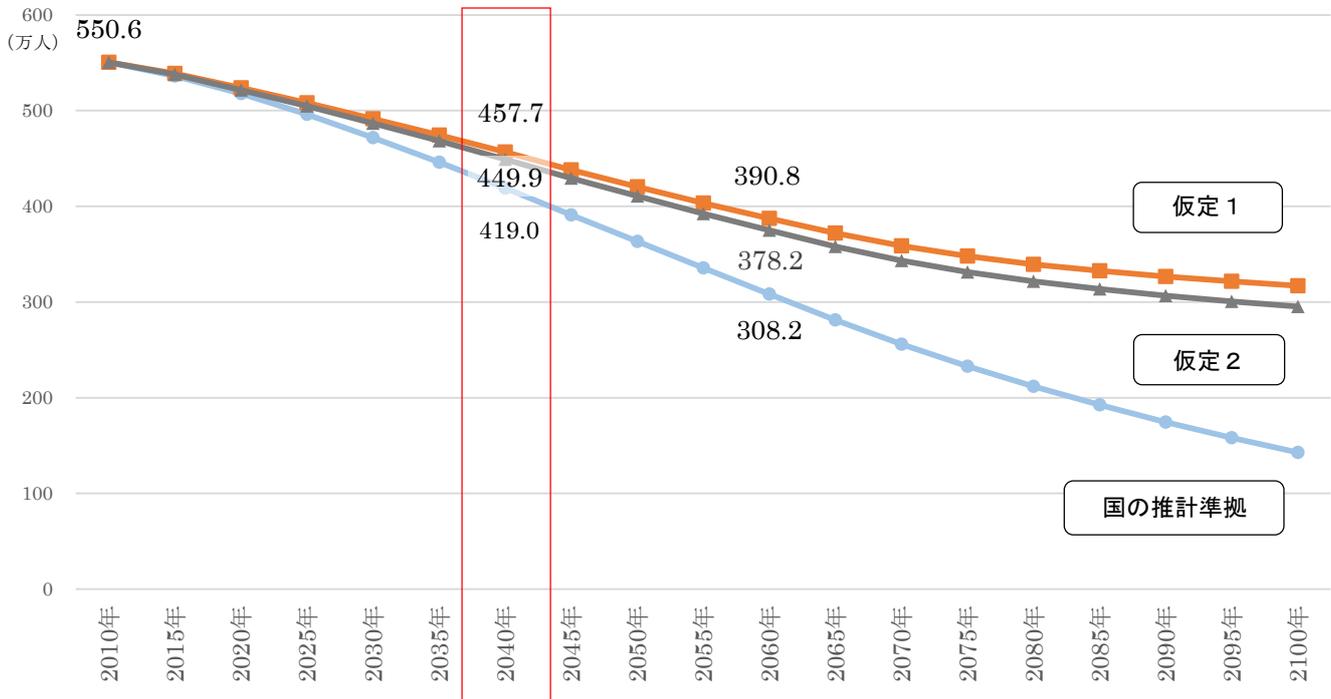
・医療費の総額は、2025～2030年をピークに減少し、地方部における医療施設の撤退や身近な受診、受療機会の減少、通院時間の増加等が懸念される。  
・高齢化に伴い、一人当たりの医療費は増加することにより、若年層や現役世代の負担増が懸念される。



・税収額は、生産年齢人口の減少に伴い、人口減少割合を上回るスピードで減少する。  
・税収の減少に加え、医療費、介護給付費の増加が見込まれていることから、行財政を取り巻く環境は更に悪化することが懸念される。

# 人口の将来展望

- 今後、札幌市をはじめ道内各地域において、自然減、社会減の両面からの対策が効果的かつ一体的に行われ、その施策効果により合計特殊出生率が向上し、道外への転出超過が抑制された場合には、2040年時点で、460～450万人の人口が維持される見通し。



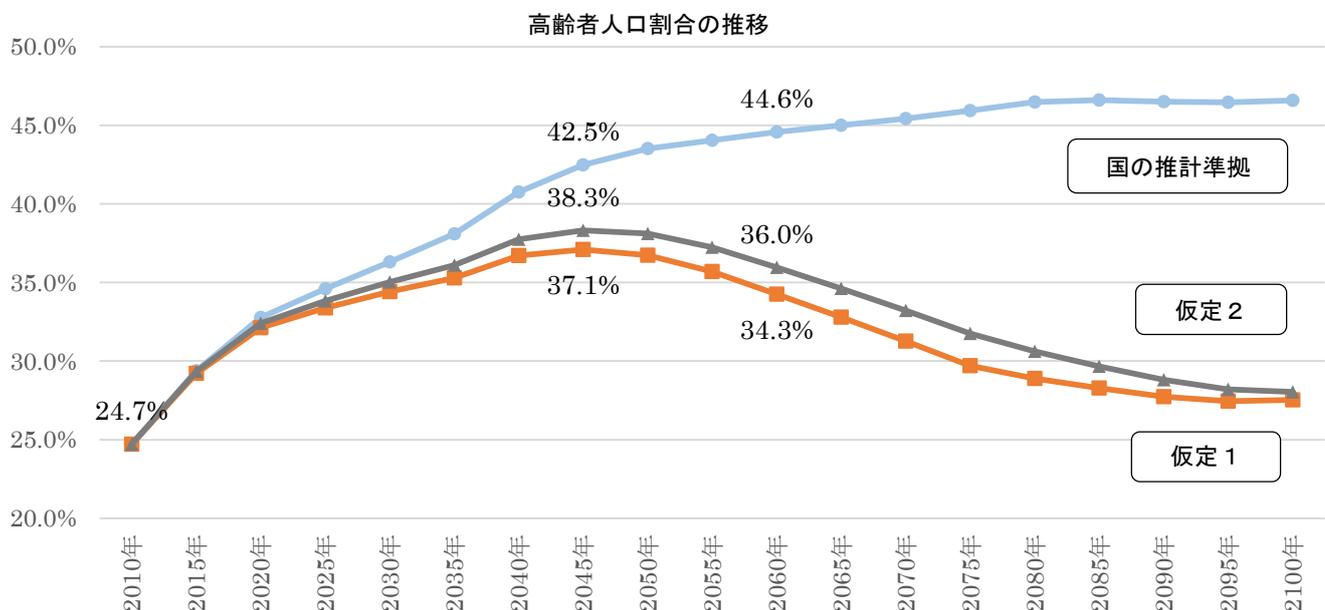
**仮定1：2040年の人口約458万人**

- ① 自然動態（合計特殊出生率）  
2030年：1.8、2040年：2.07
- ② 社会動態（純移動数）  
2019年：転出超過数を現在の約半分にする  
2025年：社会増減数を均衡 (=0) させる

**仮定2：2040年の人口約450万人**

- ① 自然動態（合計特殊出生率）  
・札幌市 2030年：1.5、2040年：1.8、  
2050年：2.07  
・札幌市以外は**仮定1**と同様
- ② 社会動態（純移動数）  
**仮定1**と同様

- 高齢者の人口割合は、国の推計が2040年を超えても上昇していくのに比べ、人口構造の高齢化抑制の効果が2045年頃に現れ始め、その後、低下する。



# 北海道創生総合戦略の概要

平成 27 年 10 月  北海道

## めざす姿と取組の基本方向

### 〔めざす姿〕

幅広い世代が集い、つながり、  
心豊かに暮らせる包容力のある北海道

### 〔取組の基本方向〕

- (1) 広大な土地と恵まれた環境の中、安心して子どもを育み、道民一人ひとりの個性に応じた活躍の場をつくる
- (2) 個性的な自然・歴史・文化・産業等を有する多様な地域において、将来にわたり安心して暮らし続けることのできる生活の場をつくる
- (3) 豊かな自然や高い食料供給力など多様な資源を活かし、力強い経済と、生き生きと働くことのできる就業の場をつくる

## 総合戦略の構成

### 〔重点戦略プロジェクト〕

総合戦略の中核となる施策群

### 〔基本戦略〕

5つの柱に沿った総合的な人口減少対策の方向性を提示

- 1 子どもを生み育てたいという希望をかなえる
- 2 住み続けたいと思える生活環境を整える
- 3 食や観光をはじめとする力強い産業と雇用の場をつくる
- 4 北海道らしさを活かして人を呼び込み・呼び戻す
- 5 多様性を活かし、北海道らしい連携により地域を形づくる

### 〔地域戦略〕

振興局が中心となって進める広域的な施策の方向性を提示

## 重点戦略プロジェクトの枠組

### 北海道価値の磨き上げ

暮らしの「質」を高める

1. 安心のまち・暮らし  
「住みいる北海道」プロジェクト

域内循環で「価値」を高める

2. 北のめぐみ  
「資源・ひと・経済好循環」  
創出プロジェクト

### 北海道産業の競争力強化

基幹産業の「成長力」を高める

3. 未来を拓く  
「攻めの農・林・水産業」  
確立プロジェクト

域外からの「稼ぐ力」を高める

4. 輝く  
「アジアのHOKKAIDO」  
創造プロジェクト

人や地域の「結びつき」を高める

5. 多様な交流・連携と「北海道型地域自律圏」形成プロジェクト

人・資金を「増やし」「逃さず」「呼び込み」「定着させ」「価値を高める」

人口減少・危機突破

# 重点戦略プロジェクトの概要

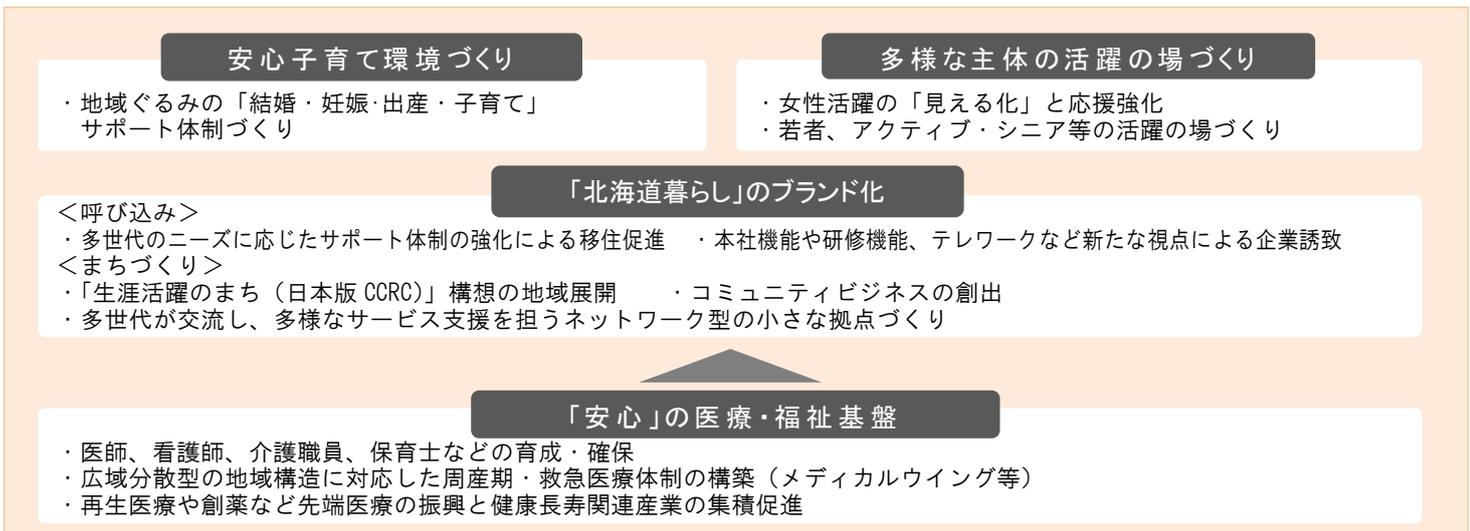
基本戦略に掲げる施策の中から、総合戦略の中核となる施策を絞り込むとともに再構築を行い、戦略の推進期間を通じ政策資源を集中投入し、特に重点的に推進すべき施策群を「重点戦略プロジェクト」として設定する。

## 〈プロジェクトの着眼点〉

- ・ 本道の強みや資源を最大限に活用し、北海道だからこそ可能なプロジェクト
- ・ 既存の枠組みや発想にとらわれず大胆に挑戦するプロジェクト
- ・ 国内外のモデルとなり、北海道創生を牽引するプロジェクト

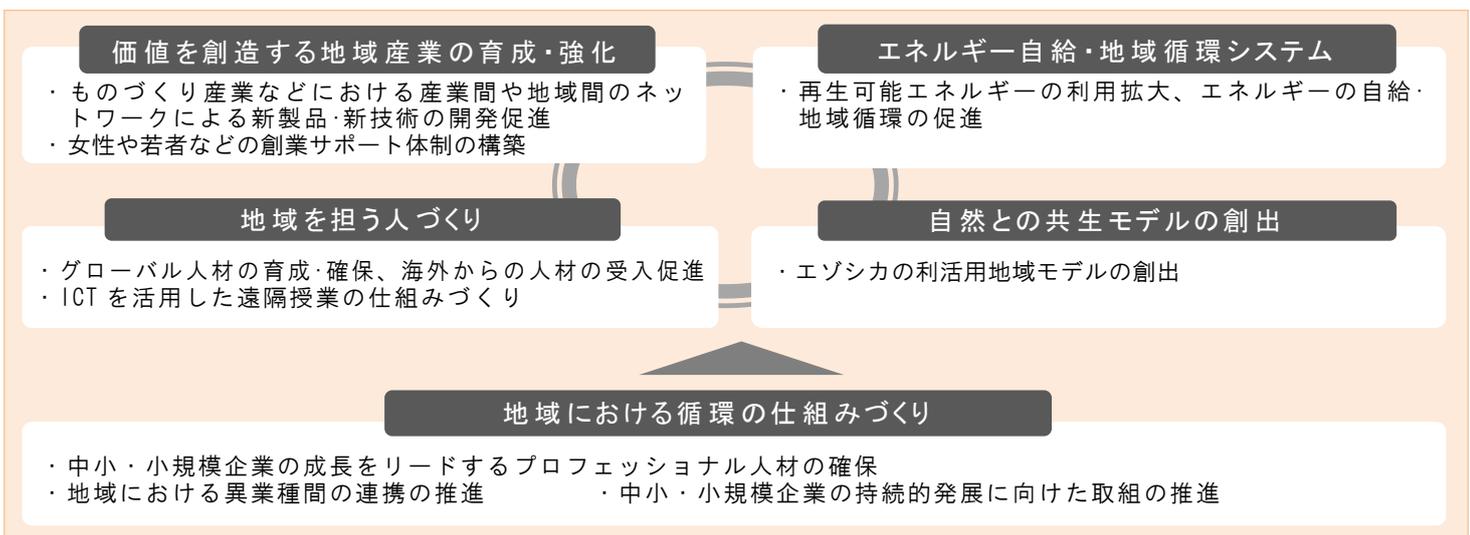
## 1. 安心のまち・暮らし「住みいる北海道」プロジェクト

子育てやゆとりある生活に適した本道の暮らしのブランド化と発信により、誰もが自らの個性に応じ活躍し、心豊かに安心して暮らし続けるとともに、多くの人々を呼び込むことができる地域社会をつくる。



## 2. 北のめぐみ「資源・ひと・経済好循環」創出プロジェクト

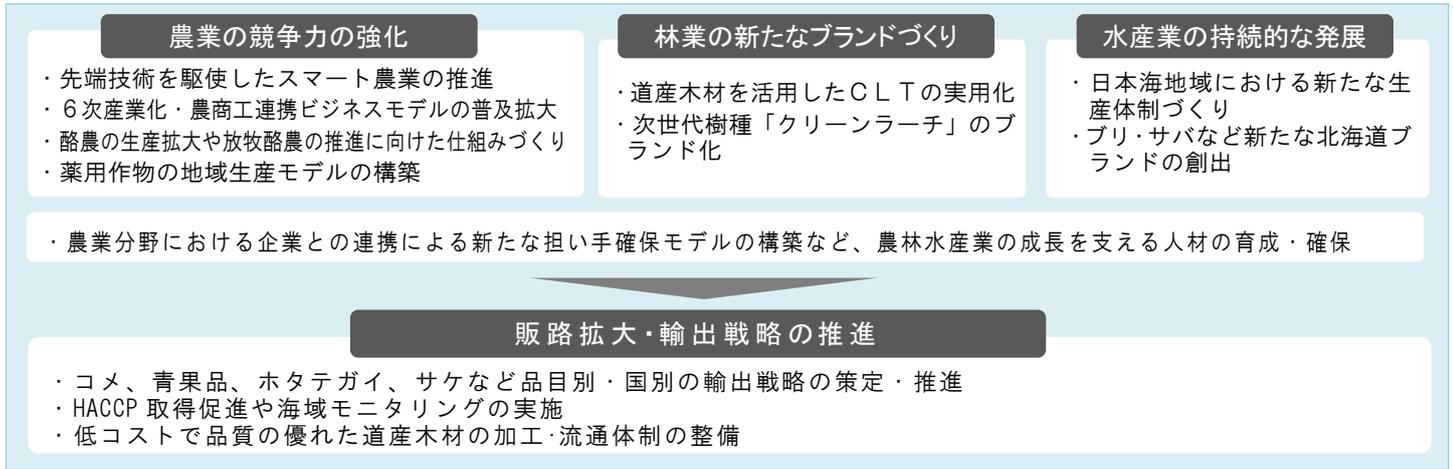
食をはじめとする地域資源の掘り起こしや磨き上げ、ネットワーク化、豊富なエネルギー資源の活用などを通じ、資源・ひと・経済の循環を促進し、地域外への移出の拡大や内需、雇用の創出につなげる。



# 重点戦略プロジェクトの概要

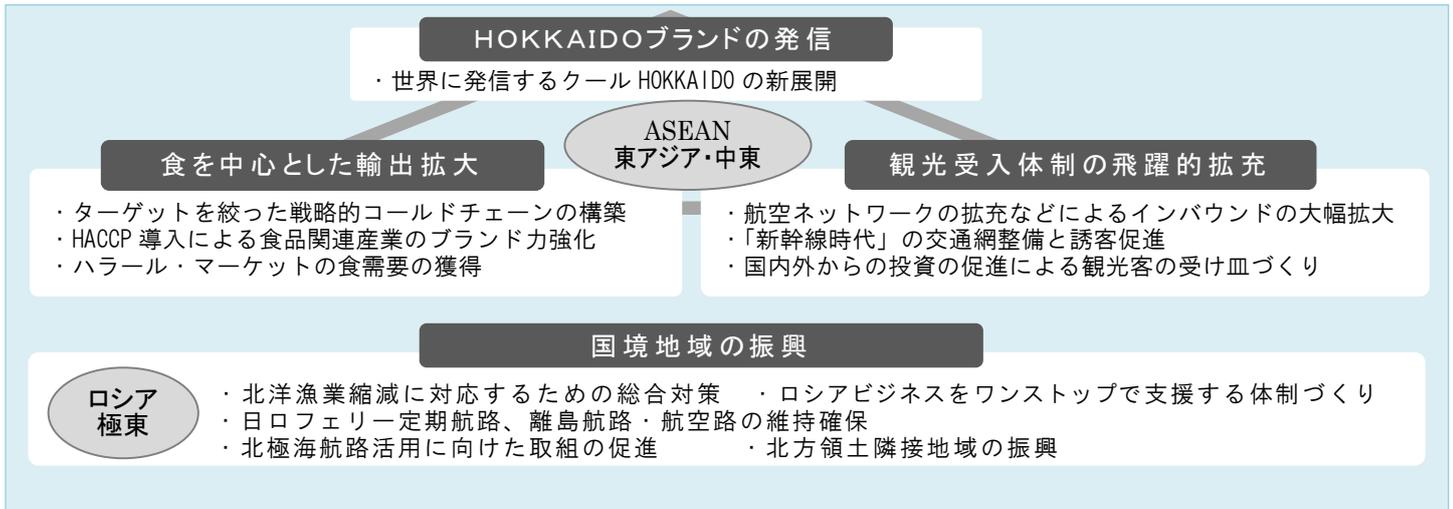
## 3. 未来を拓く「攻めの農・林・水産業」確立プロジェクト

我が国の食料の安定供給に貢献する本道農業・水産業の国際競争力を高めるとともに、本道ならではの森林資源のブランディングを進めることにより、地域に所得と雇用を生み出すチャレンジングな農林水産業を確立する。



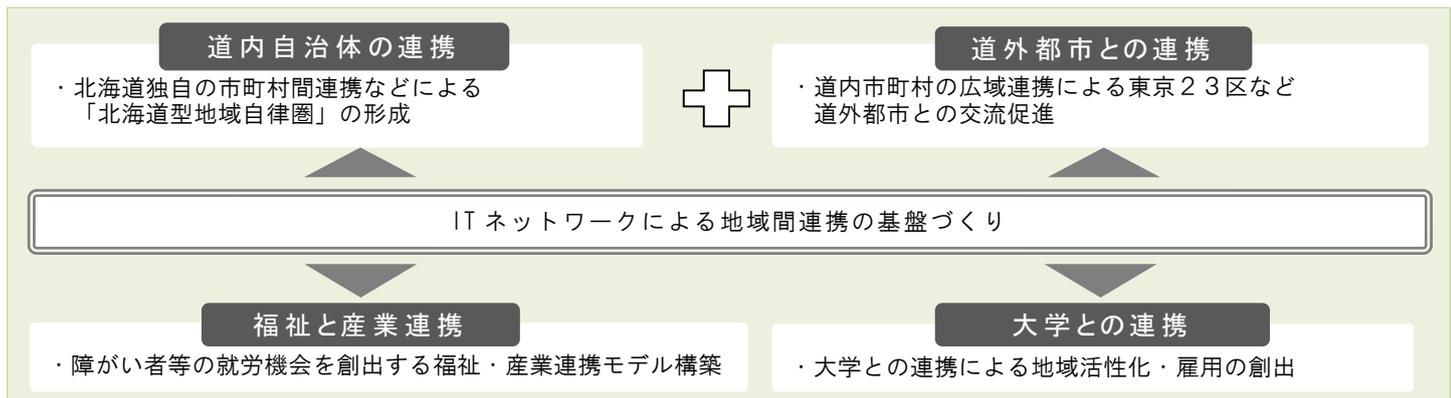
## 4. 輝く「アジアのHOKKAIDO」創造プロジェクト

人口減少に伴う域内需要の減少に対応するため、グローバル化の潮流を捉え、アジアの成長力を着実に取り込むとともに、日ロ国境地域の振興などを通じて、国際競争力の高い北海道を創造する。



## 5. 多様な交流・連携と「北海道型地域自律圏」形成プロジェクト

地域構造に着目し、北海道ならではの地域間、産業間、主体間の多様な連携モデルを創出することにより、地域の特性や実情に応じた行政サービスやコミュニティを維持し、人口減少下においても活力ある地域を形成する。



## 基本戦略

### 1 子どもを生み育てたいという希望をかなえる

- ① 未婚化・晩婚化への対応
- ② 地域特性に応じた子育て支援の充実
- ③ 仕事と子育てを両立できる職場環境づくり
- ④ 子どもの安全・安心の確保

### 2 住み続けたいと思える生活環境を整える

- ① 協働によるまちづくりとコミュニティの再構築
- ② 安心を支える医療・福祉サービスの確保
- ③ 地域における交通ネットワークや買い物の利便性の確保
- ④ 地域や未来を担う人づくり
- ⑤ 防災・防犯など暮らしの安全・安心の確保

### 3 食や観光をはじめとする力強い産業と雇用の場をつくる

- ① 地域を支える農林水産業の成長産業化
- ② 地域資源を活かした食関連産業の振興
- ③ 観光産業の先進地・北海道の実現
- ④ 高い付加価値を生み出すものづくり産業の振興
- ⑤ 域内循環型ビジネスの育成・拡大
- ⑥ 中小・小規模企業の競争力の強化
- ⑦ 北海道の強みを活かした企業等の誘致
- ⑧ 市場規模やニーズの変化に応じた産業の創造
- ⑨ 多様な人材の活躍推進、担い手対策

### 4 北海道らしさを活かして人を呼び込み・呼び戻す

- ① 交流人口の拡大
- ② 独自の歴史・文化の発信
- ③ 居住環境の魅力を活かした移住・定住の促進

### 5 多様性を活かし、北海道らしい連携により地域を形づくる

- ① 多様な強みを持つ地域づくり
- ② 自治体の広域的な連携
- ③ 札幌圏の人口集中への対応

## 地域戦略

### 1 振興局内の様々なエリアにおける施策展開

空知地域	米どころ空知の農業と関連産業の振興 など
石狩地域	若い世代の結婚・子育てに関するポジティブ・マインドの形成など少子化対策の加速 など
後志地域	多彩な地域資源を活用した国際観光リゾートエリアの形成 など
胆振地域	世界の課題に応える産業拠点の形成促進と雇用の創出 など
日高地域	「ひだか」地域を支える農林水産業の振興 など
渡島地域	北海道新幹線開業効果を最大限に発揮した交流人口の拡大 など
檜山地域	「日本海漁業振興基本方針」に基づく漁業の活性化など農林水産業の振興 など
上川地域	天塩川や大雪山など魅力ある地域資源を活かした上川地域への来訪促進 など
留萌地域	南北に細長く自然条件に応じて展開される多彩な農林水産業の振興と雇用の創出 など
宗谷地域	豊かな土地資源を活かした酪農と海域の特性に応じた栽培漁業の推進 など
オホーツク地域	国内外への販路拡大などによる農林水産業の強化 など
十勝地域	「食の総合産業化」の推進による地域産業の振興 など
釧路地域	「根釧酪農ビジョン」の実現に向けた具体的取組の展開 など
根室地域	子育て支援の充実など少子高齢社会への対応 など

### 2 振興局を越えた広域連携による施策展開

地域特性を活かしたスポーツ合宿適地としてのブランド化の推進(オホーツク、上川)  
北海道新幹線開業を活かした青森・道南広域観光圏の形成(渡島、檜山) など